

【SAN-ESU BASE 羽根倉通り】

自転車産業の街であった、東京 上野御徒町と
自転車が行き交う道、埼玉 志木 荒川沿い羽根倉

▶東京サンエスは1927年に御徒町で創業し、Vol.26で街や社内の様子をお伝えしました。

弊社の立地は東京の中心を回る JR 山手線の内側にあります。秋葉原や上野に隣接しているということは、何かと便利で何かと大変ということでもあります。

大量の商品群を扱う弊社はある意味、その便利と大変のバランスを取って運営しております。世の変化は否応有るのやら無いのやらわかりませんがとても激しく、我々も変化に対応すべく便利と大変のバランスを調整する中で、偶然の良縁もあって素敵な場所と建物に巡り合いました。

▶目に見えるのは緑と空、感じるのは抜ける風、爽やかに通り過ぎる自転車。その建物からの景色は見事にシンプルな絵のようです…。



志木焼の「KURU カップ」を志木の陶芸家の先生に作って頂きました。

▶サンエスペース羽根倉通り、と名付けました。

4階建の2階には、地域や河川敷を行き交う皆さんの交流の場としてソフトクリーム店「KURU」があります。「KURU」は皆さんが一息ついて、繋がり伝え通じ合う立ち廻りどころ。

また、同じ2階には弊社自転車製品に触れていただける空間「UX」ルームもあります。



「UX」ルームでは、東京サンエスオリジナルパーツやアクセサリを手にとれるスタイルで展示しています。

間もなく開店となる「KURU」、製品に触れていただける「UX」ルーム開設日の情報は東京サンエス Web サイトにて掲載しています。

<https://tsss.co.jp/web/>

▶埼玉県志木市上宗岡、羽根倉橋のたもと、羽根倉通りに面している「SAN-ESU BASE 羽根倉通り」の建物は、かつて音楽教育の名門「東京音楽大学」の学生達が集い生活し勉強していた場でした。2階以外のスペースは東京サンエスの業務を行う場となり、御徒町とバランスを取りながら運営していきます。ここから創る製品も誕生して行くことでしょう。



東京音楽大学の学生寮だった4階建の頑丈な昭和の建物。遠くに富士山も望めます。



リノベーション後の姿。羽根倉通りの入口から2階「KURU」への階段に至ります。



東京音楽大学の看板を再利用したサインは羽根倉通りからの入口に掛けています。



入口から階段に至る歩道のS字は、サンエス (SSS) をモチーフに設計されています。



さいたま市からだと秋ヶ瀬公園北端から羽根倉橋を渡ればすぐです。ここは荒川の西側(右岸)を北上した先の国営公園武蔵丘陵森林公園まで40km、東京湾の新砂りバーステーションまで39km、また荒川から別れる入間川自転車道を辿って(途中で川越があります)入間市付近まで35km程度に立地しています。

(参考地図 TABIRIN MAP 荒川 <https://tabi-rin.com/archives/map/53708>)